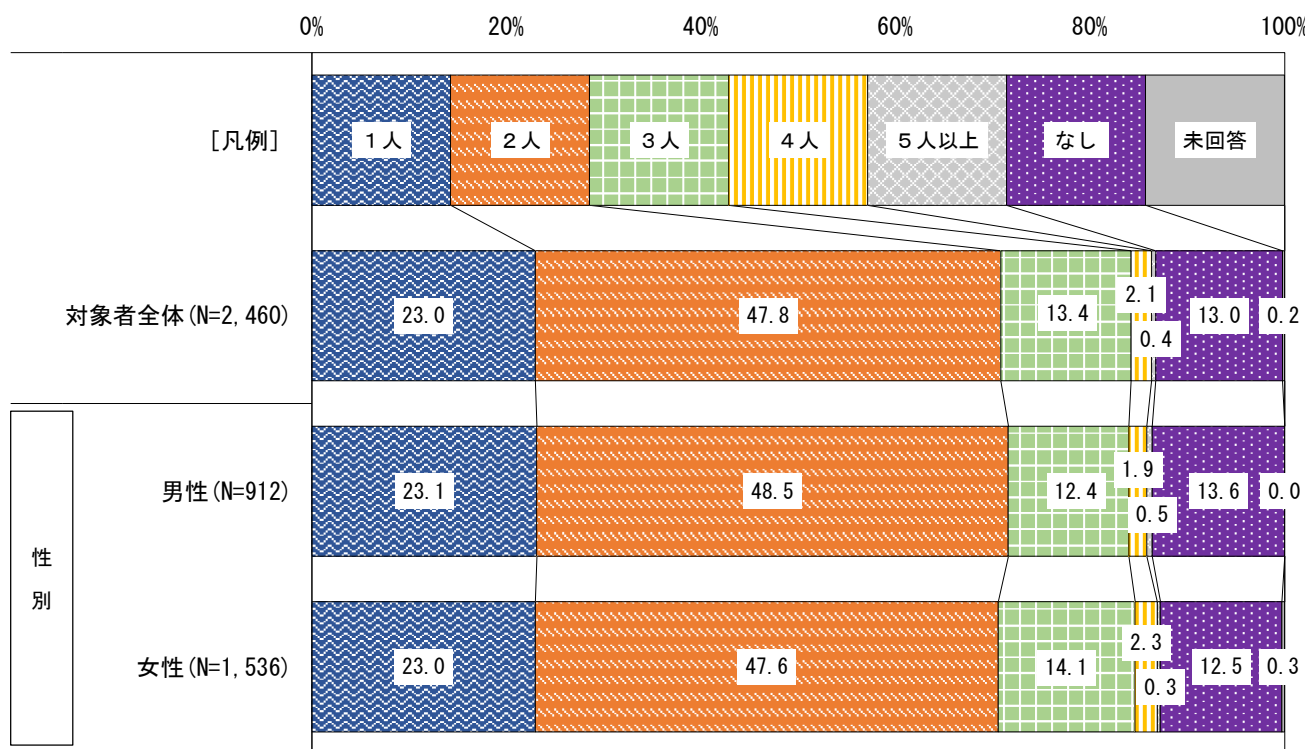


⑪ 最終的な子どもの人数

実際に持つつもりの子どもの人数については、男女ともに「2人」が最も高く、それぞれ48.5%、47.6%となっている。次いで、男女ともに「1人」が高く、「なし」も1割を超えている。

図 3-32 最終的な子どもの人数



また、前回調査との比較でみると、男性では「1人」が5.5ポイント増加し、「3人」が5.2ポイント減少している。女性では「3人」が3.3ポイントの減少、「なし」が5.7ポイント増加している。

※全国調査は回答対象年齢などが異なるため比較不可。

図 3-33 最終的な子どもの人数（前回との比較）（男性）

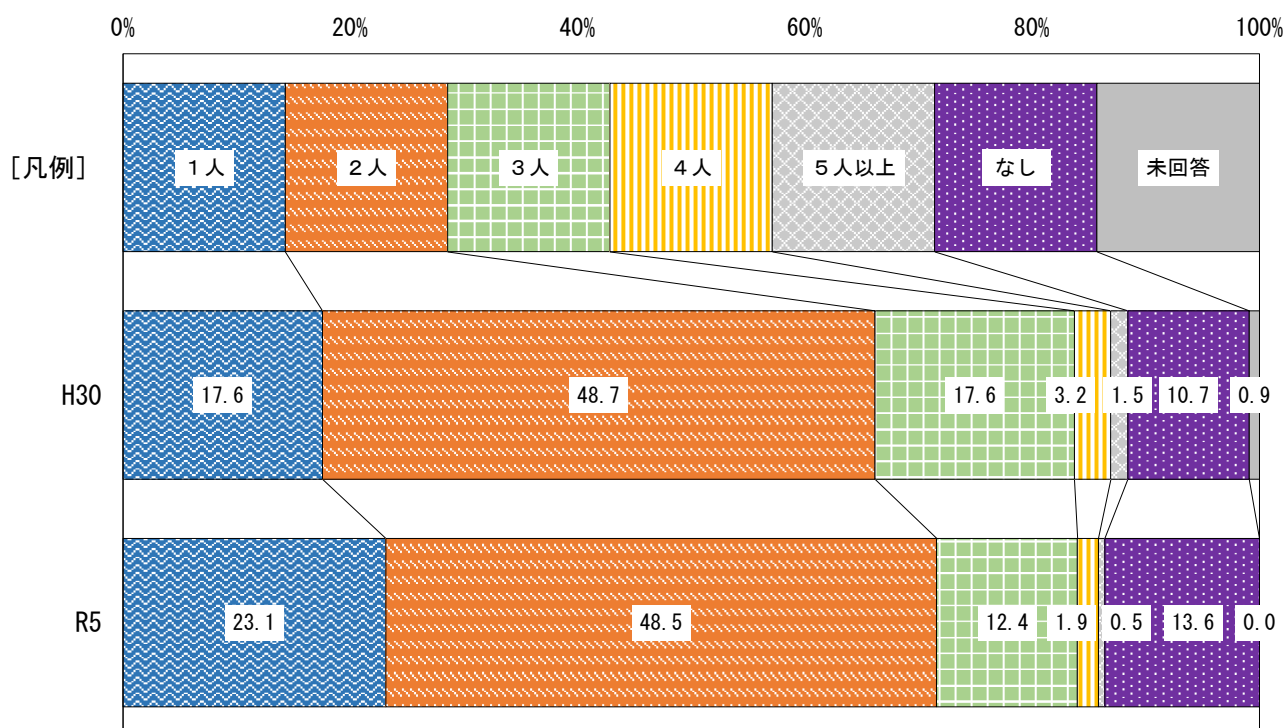
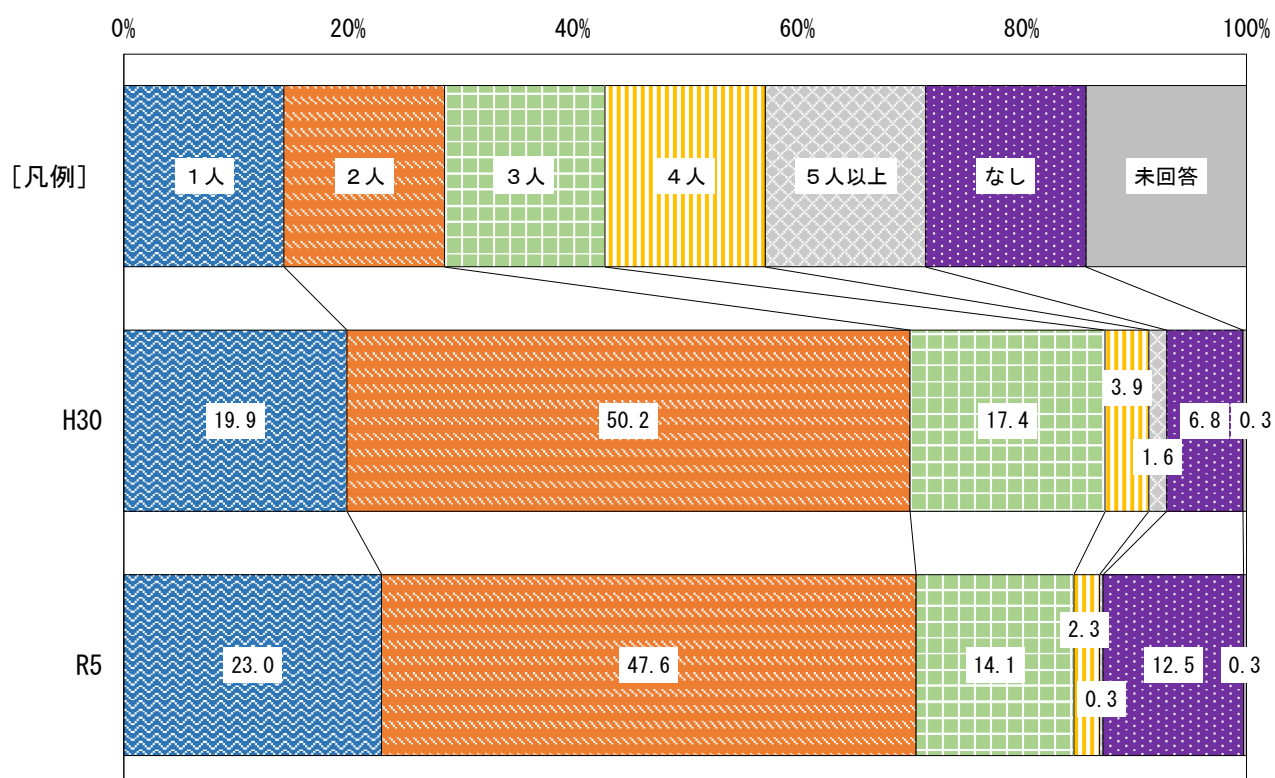


図 3-34 最終的な子どもの人数（前回との比較）（女性）



⑩ これまでに持った子どもの人数と実際に持つつもりの子どもの人数の差

これまでに持った子どもの人数と実際に持つつもりの子どもの人数の差でみると、男女ともに予定している人数より理想の人数の方が複数の子どもを希望している傾向が高い。さらに雇用状況別にみると、「派遣・嘱託・契約社員」では、予定している人数・理想の人数ともに少ない。男性の「自営業主・家族従事者」では、予定よりも実際は「3人」以上を理想とする割合が高い。

図 3-35 これまでに持った子どもの数と実際に持つつもりの子どもの人数(雇用状況別、男性)

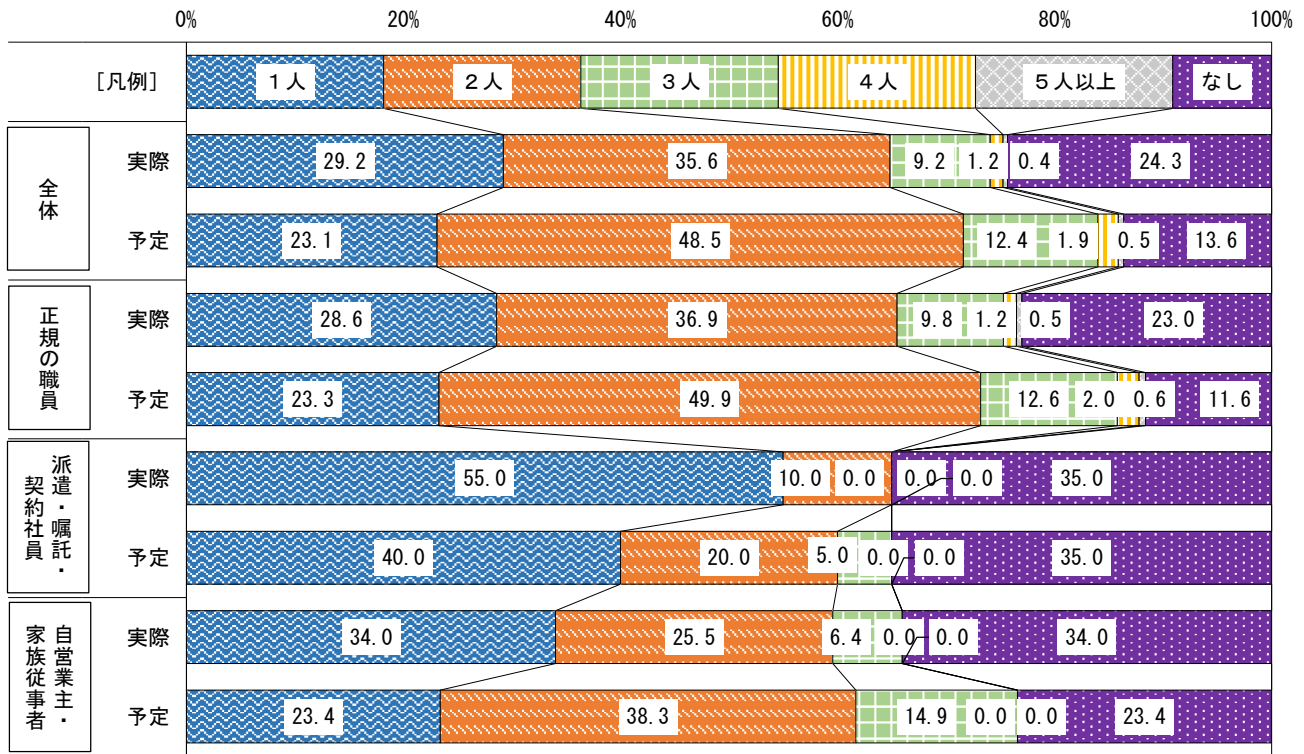
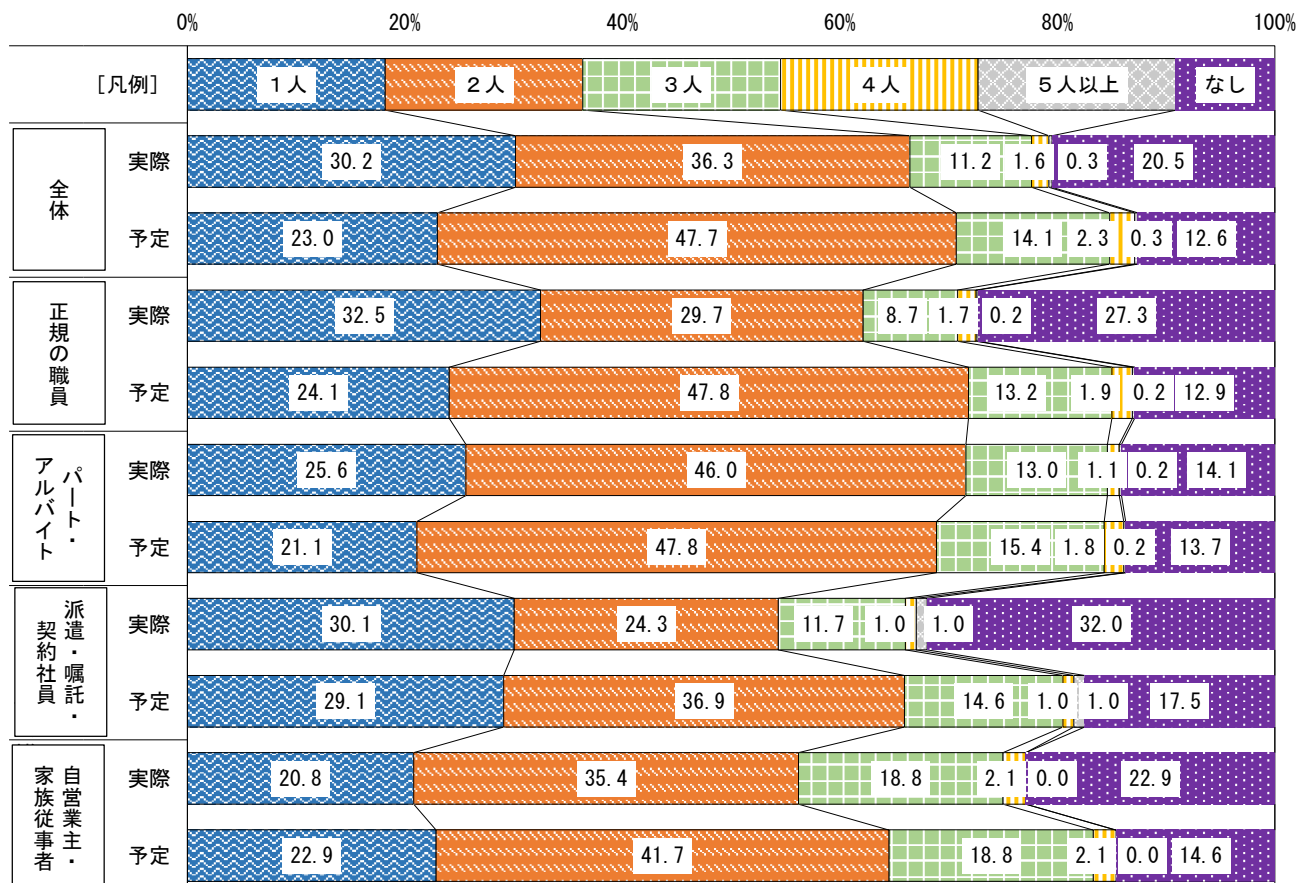


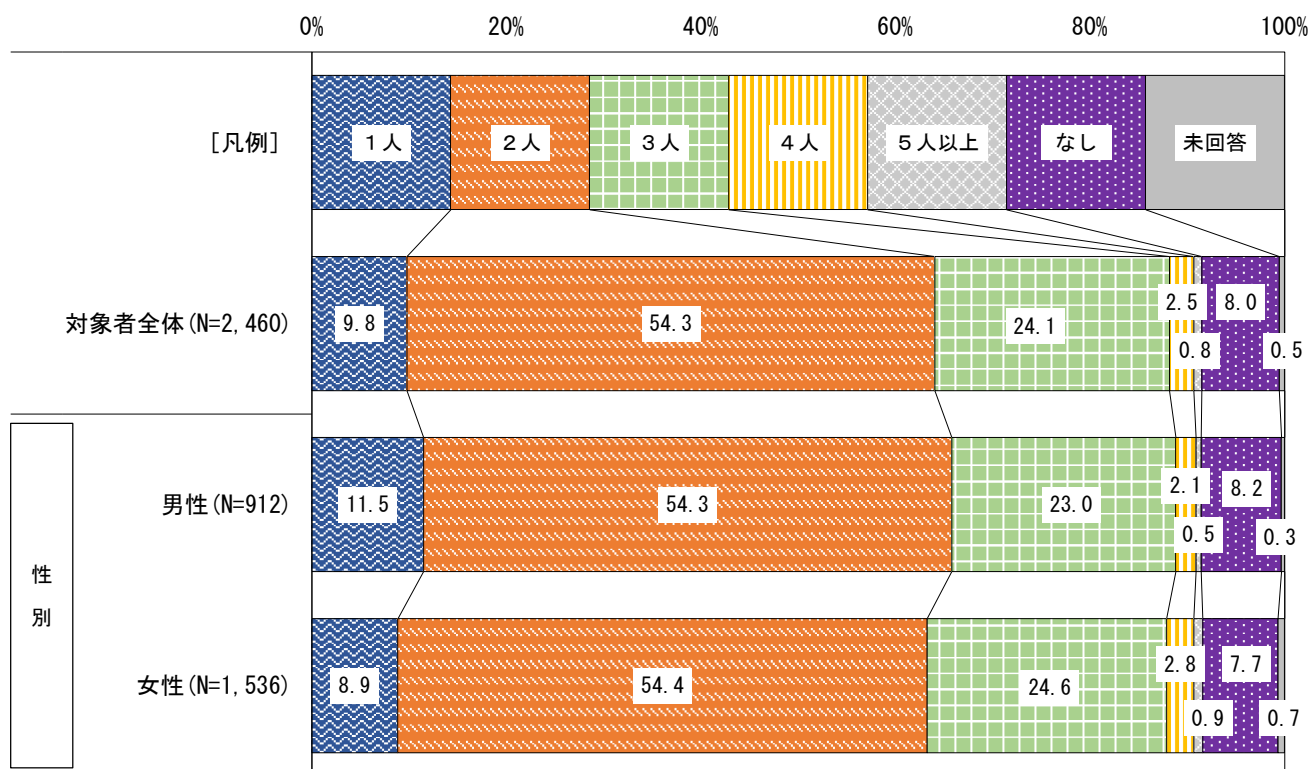
図 3-36 これまでに持った子どもの数と実際に持つつもりの子どもの人数(雇用状況別、女性)



⑬ 理想的な子どもの人数

理想的な子どもの人数について、男女ともに「2人」が最も高く、男性で54.3%、女性で54.4%となっている。次いで、「3人」、「1人」で、「なし」も1割弱となっている。

図 3-37 理想的な子どもの人数



また、前回調査との比較でみると、男性では「1人」が6.3ポイント増加し、「3人」が9.0ポイント減少となっている。女性でも「3人」が4.7ポイント減少し、「なし」が3.8ポイント増加となっている。

※全国調査は回答対象年齢などが異なるため比較不可。

図 3-38 理想的な子どもの人数（前回との比較）（男性）

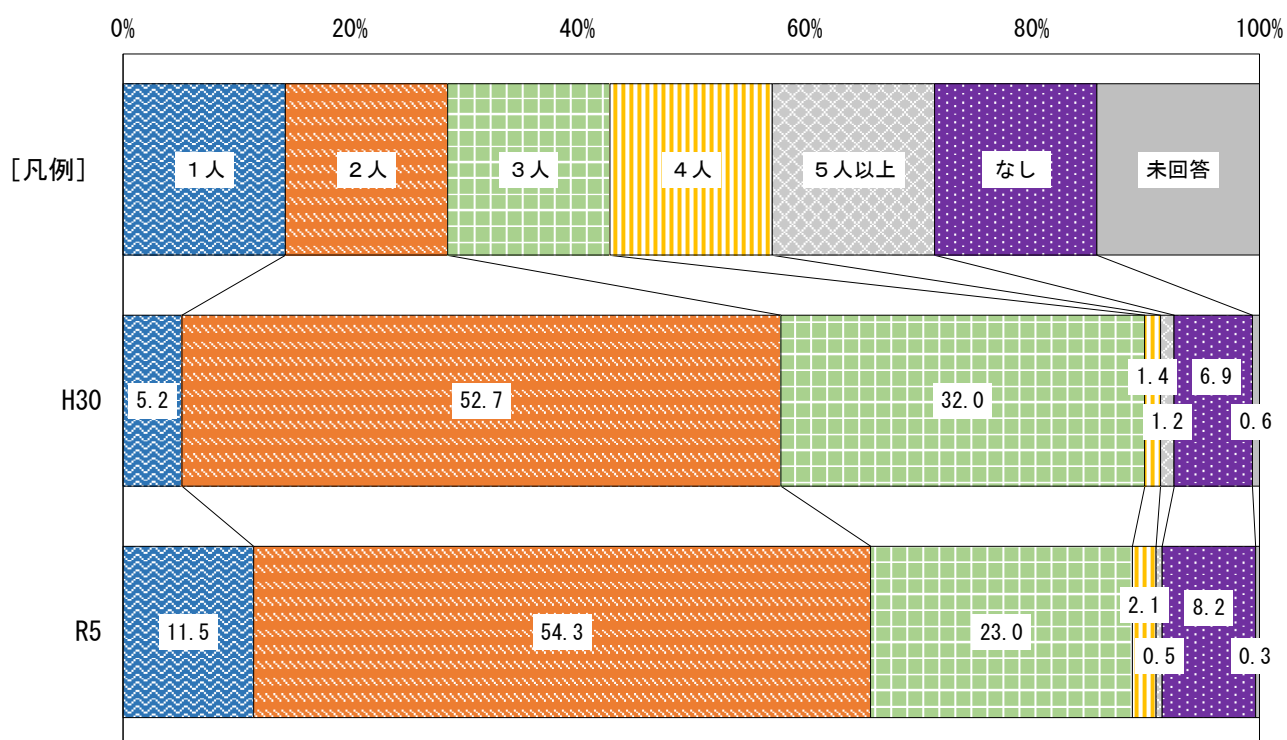
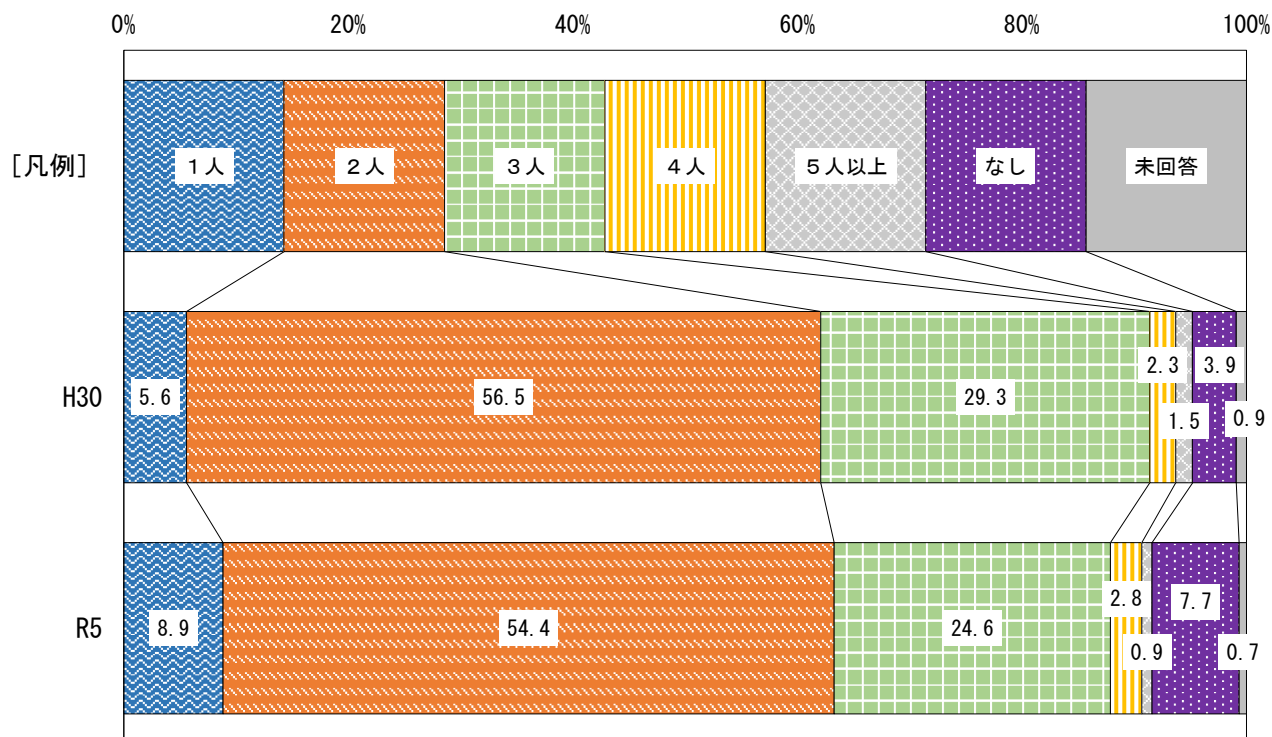


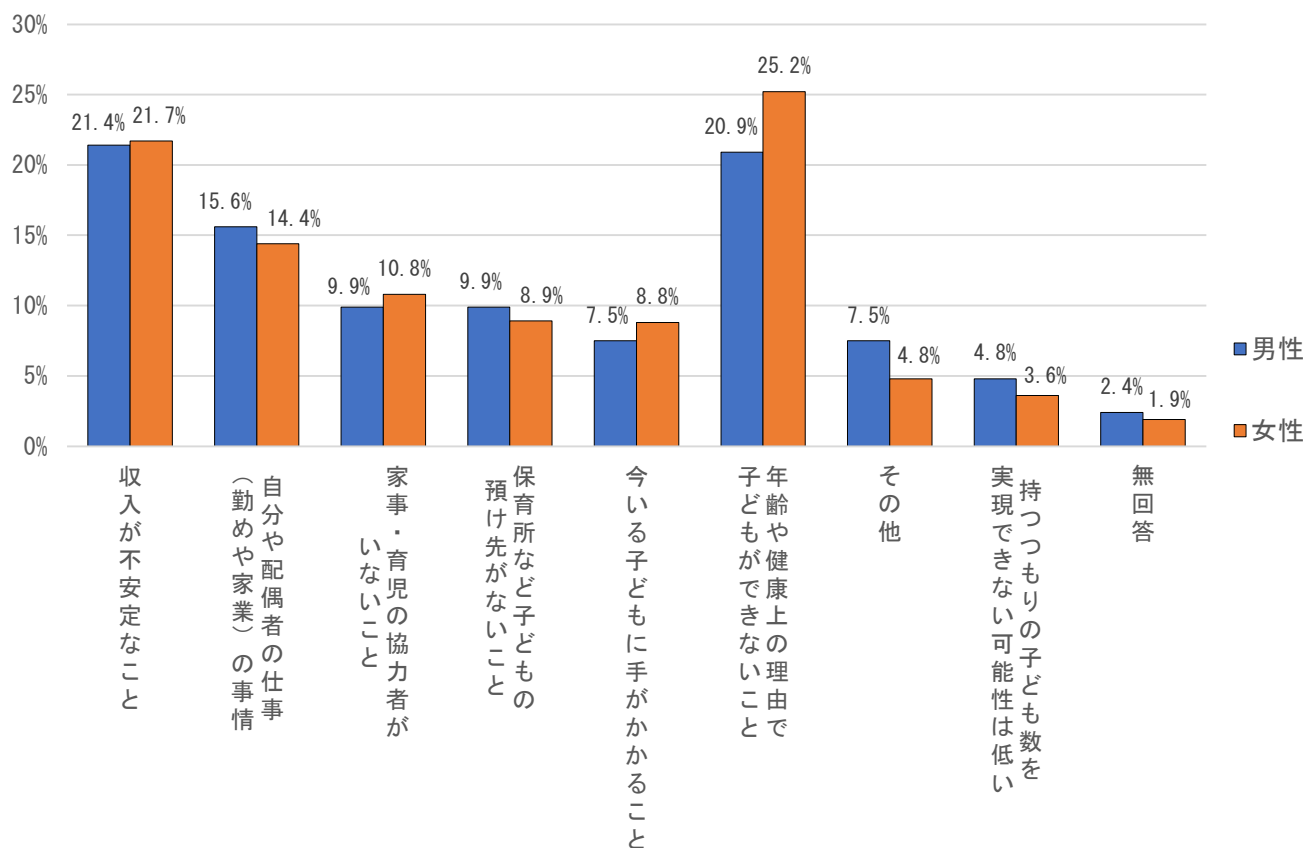
図 3-39 理想的な子どもの人数（前回との比較）（女性）



㊼ 予定している子どもの人数が実現できない原因

今後持つつもりの子どもの人数が1人以上と回答した人に、予定している子どもの人数が実現できないことがあるとした場合、どのような原因があるかを聞いたところ、男性では「収入が不安定なこと」が21.4%で最も高く、女性では「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」が25.2%と最も高くなっている。

図 3-40 予定している子どもの人数が実現できない理由



年代別でみると、男女ともに40代において「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」が最も高く、他の年代に比べても10.2ポイント以上高い結果となっている。男性の20代・30代では「収入が不安定なことが最も高く、20代では他の年代に比べて5.7ポイント以上高くなっている。女性においては、20代は「収入が不安定なことが27.5%、30代は「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」が28.4%と最も高くなっている。

図 3-41 予定している子どもの人数が実現できない理由（年代別比較）（男性）

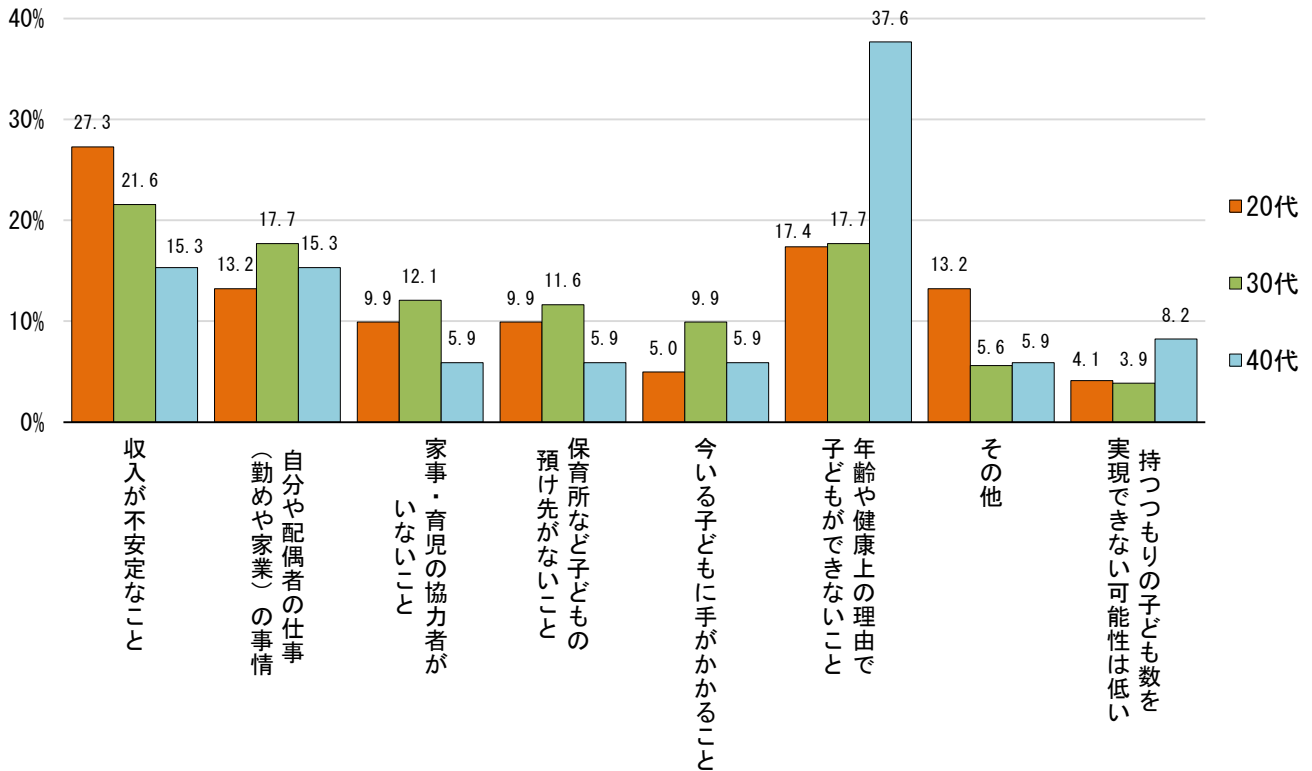
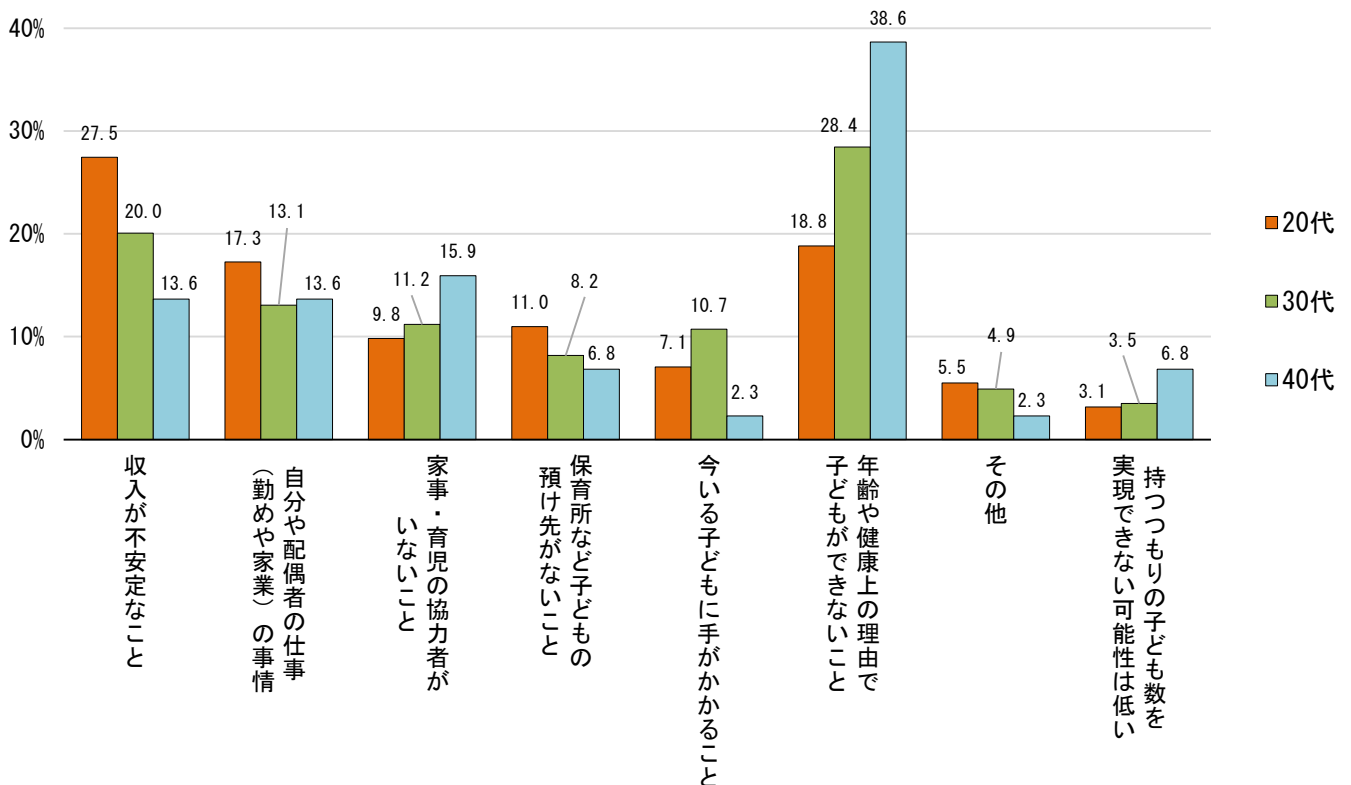


図 3-42 予定している子どもの人数が実現できない理由（年代別比較）（女性）



また、前回調査・全国調査との比較でみると、男性では「収入が不安定なこと」がR5年度で高く、4.2ポイント以上高くなっている。女性でも「収入が不安定なこと」が5.8ポイント以上高く、「年齢や健康上の理由で子どもができないこと」が6.6ポイント以上低くなっている。

図 3-43 予定している子どもの人数が実現できない理由（前回・全国との比較）（男性）

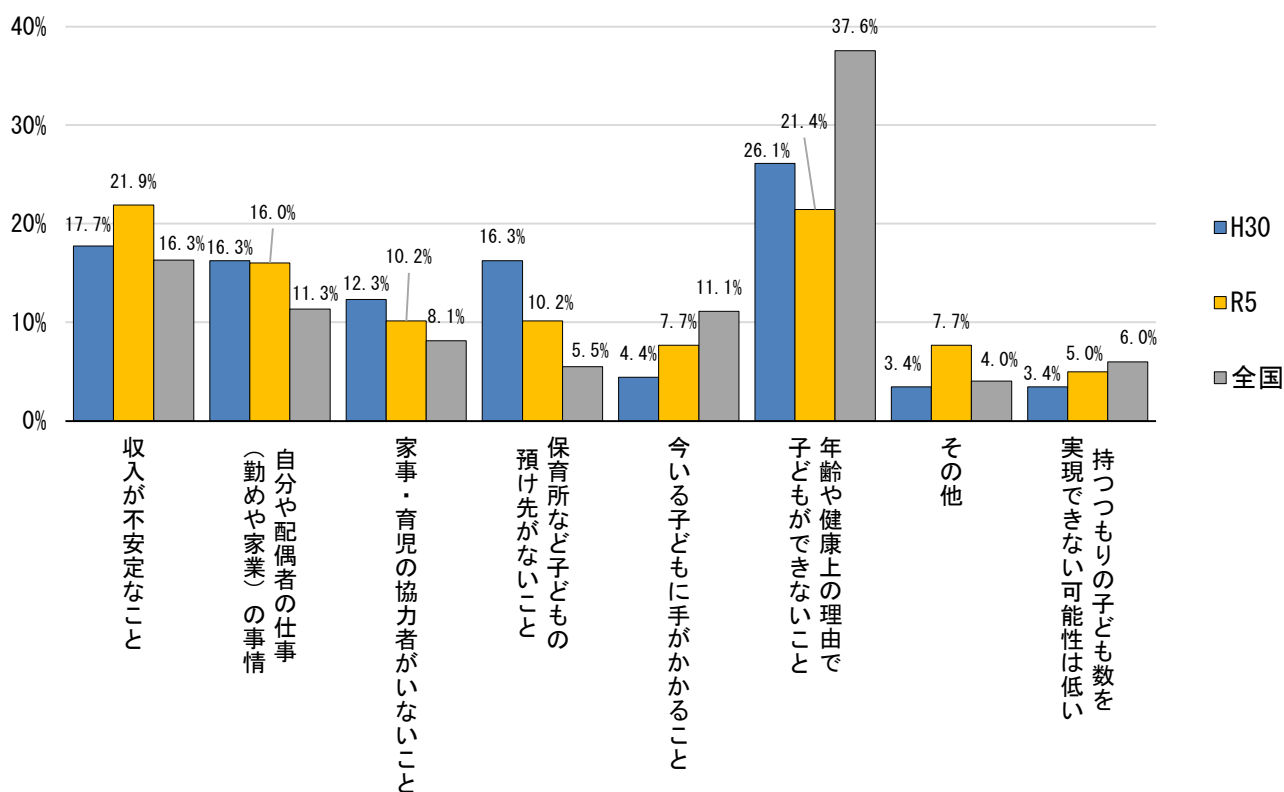
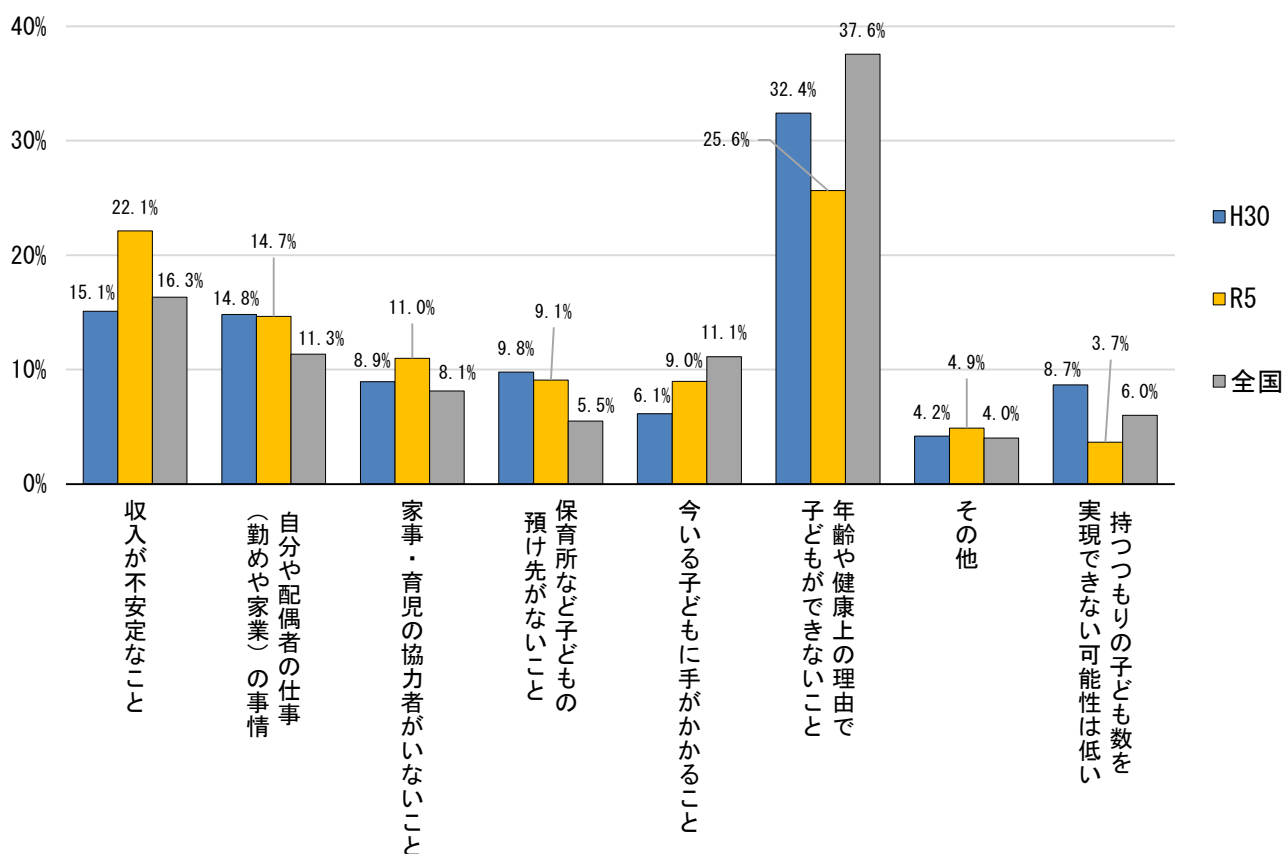


図 3-44 予定している子どもの人数が実現できない理由（前回・全国との比較）（女性）



⑫ 理想の子どもの人数が実現できない原因

実際に持つつもりの子どもの人数が理想とする子どもの人数より少ない人数と回答した人に、理想の子どもの人数が実現できない理由について聞いたところ、男女ともに「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も高く、男性で合計 24.1%、女性で 23.3%となっている。次いで、「収入が少ないまたは収入が不安定だから」が高い。

図 3-45 理想の子どもの人数が実現できない原因：男性

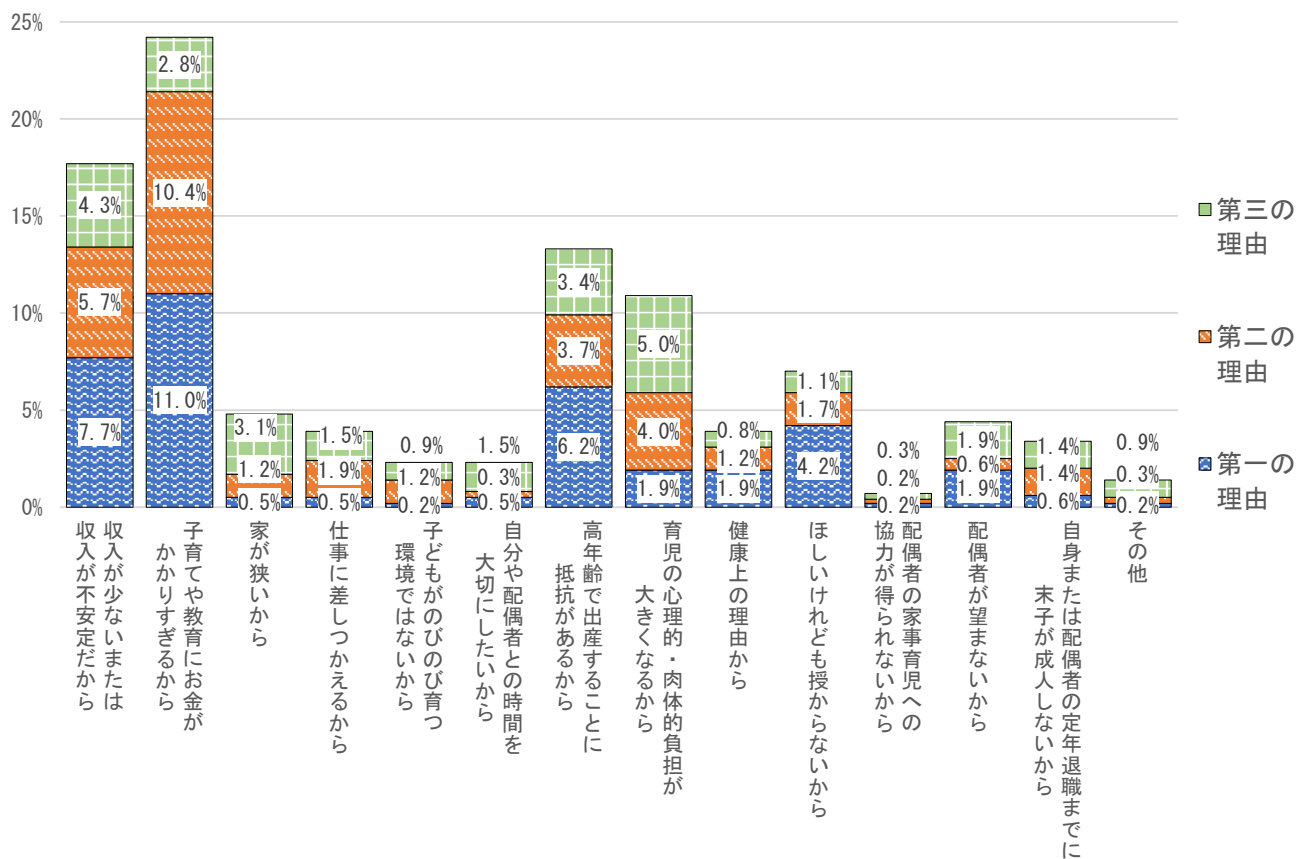
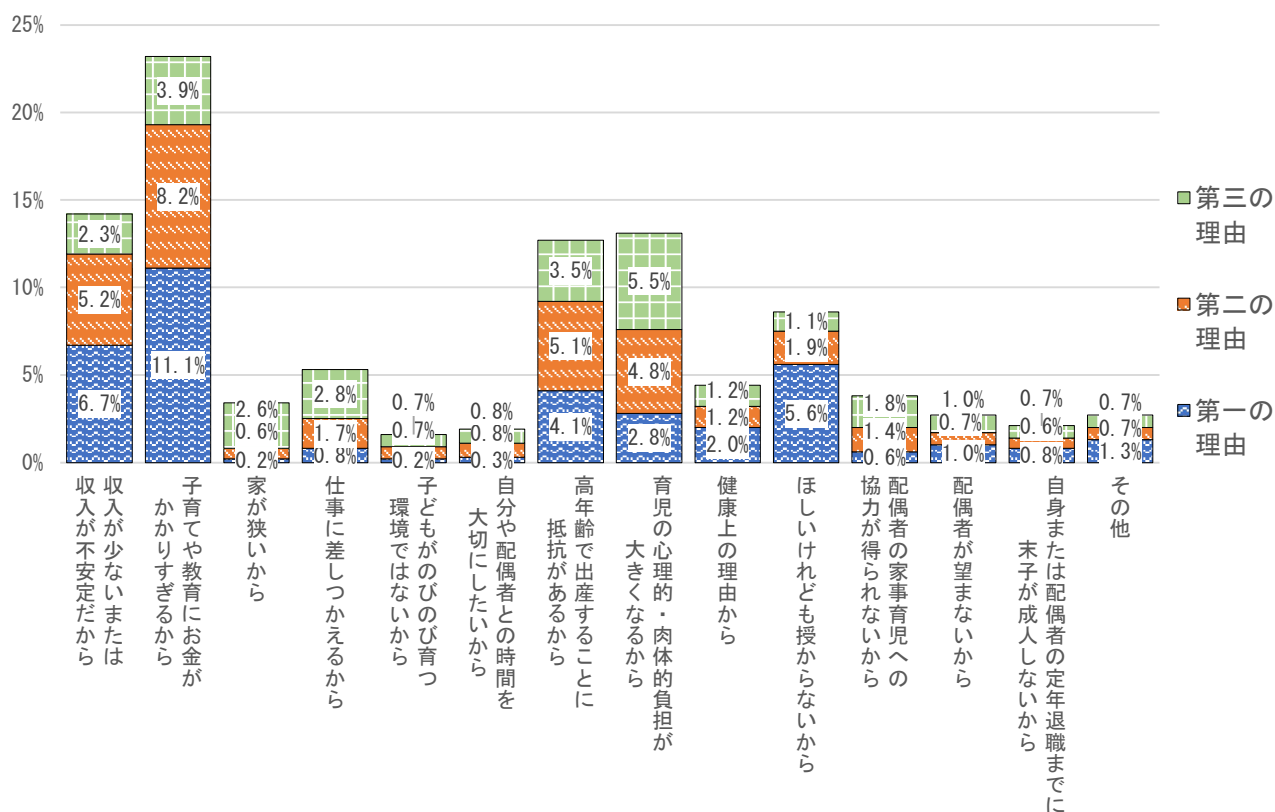


図 3-46 理想の子どもの人数が実現できない原因：女性



前回調査・全国調査との比較でみると、男性では「収入が少ないまたは収入が不安定だから」が5.2ポイント高くなっている。また、「高年齢で出産することに抵抗があるから」、「配偶者の家事育児への協力が得られないから」が全国調査に比べて3.7ポイント以上低くなっている。女性では「育児の心理的・肉体的負担が大きくなるから」が3.1ポイント以上高く、「仕事に差しつかえるから」が前回調査に比べ4.2ポイント低くなっている。

※全国調査には「収入が少ないまたは収入が不安定だから」の選択肢なし。

図 3-47 理想の子どもの人数が実現できない原因（前回・全国との比較）（男性）

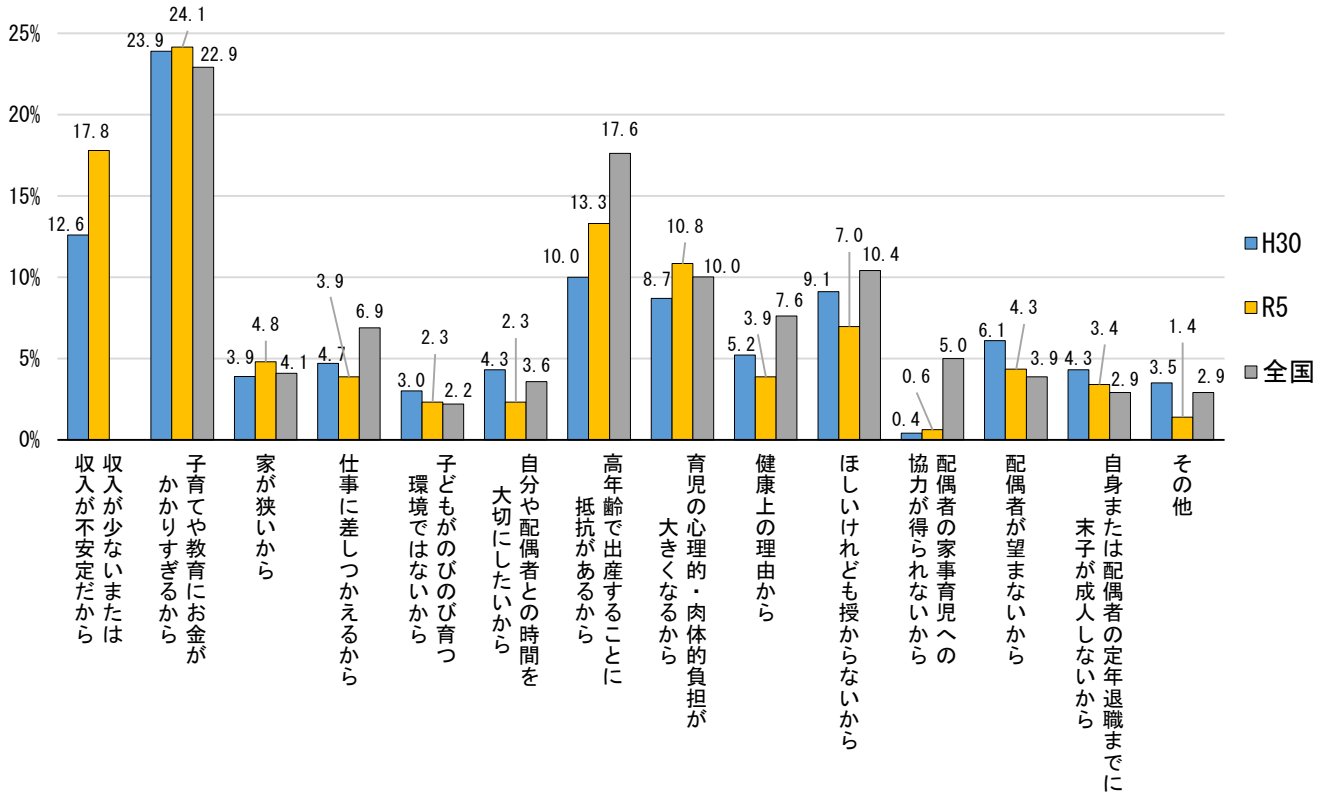
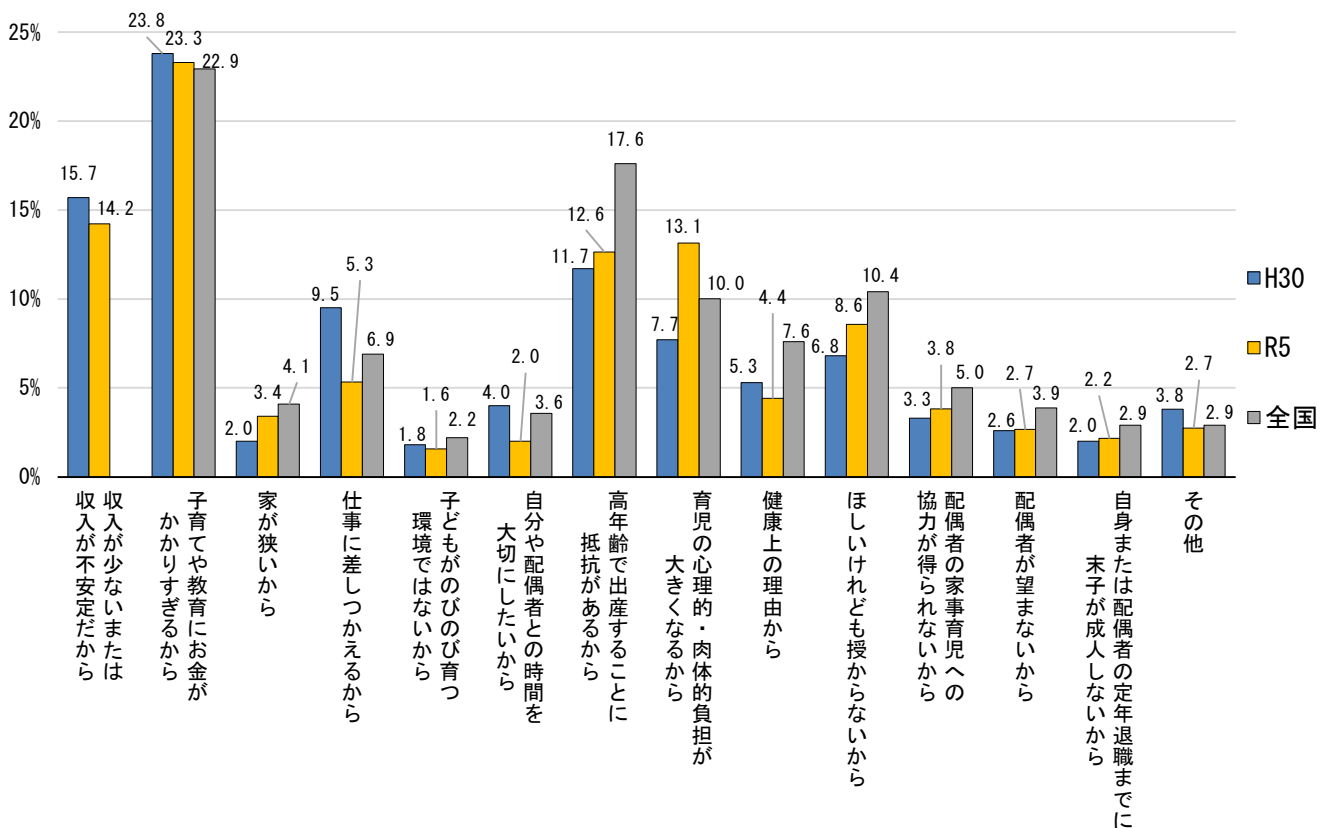


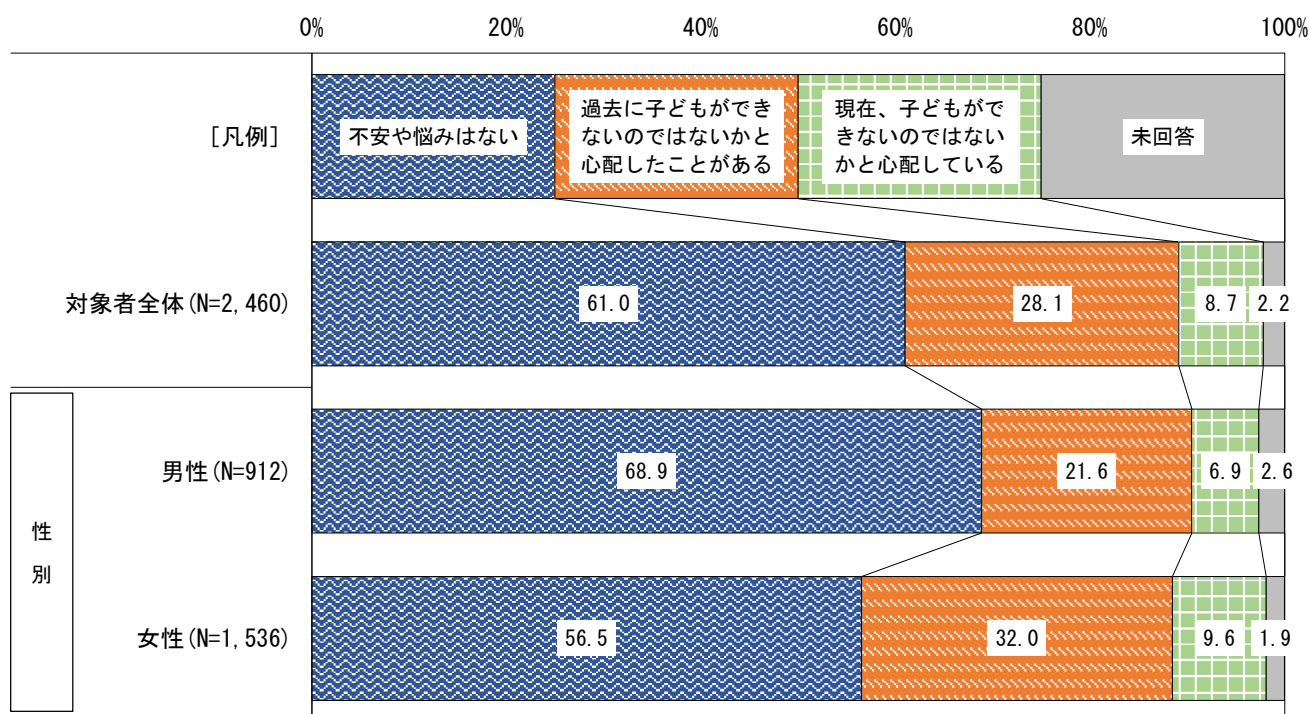
図 3-48 理想の子どもの人数が実現できない原因（前回・全国との比較）（女性）



⑫ 不妊についての不安や悩み

不妊について不安や悩みがあるかについて、男女ともに「不安や悩みはない」が最も高く、男性で 68.9%、女性で 56.5%、男女差でみると、男性が女性に比べて 12.4 ポイント高くなっている。次いで、「過去に子どもができないのではないかと心配したことがある」となっており、これは男性の 21.6%に対し、女性が 32.0%と、男性に比べて女性が 10.4 ポイント高くなっている。

図 3-49 不妊についての不安や悩み



⑬ 不妊の検査や治療の経験

不妊の検査や治療の経験があるかについて、男女ともに「特に医療機関にかかったことはない」が最も高く、男性で 74.2%、女性で 68.8%となっている。また、「過去に検査や治療を受けたことがある」、「現在、検査や治療を受けている」を合わせ、“経験がある”と回答した割合も、男性で合わせて 22.9%、女性で合わせて 30.2%と、一定数いる結果となっている。

図 3-50 不妊の検査や治療の経験

